

Q 花粉症治療の費用はいくらかかりますか？

医の値段

A スギなどの花粉が引き金となる花粉症は、目や鼻に炎症が起こるアレルギー疾患で、くしゃみや鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状が特徴です。治療の中心はアレルギー反応を抑える薬物療法ですが、鼻の粘膜をレーザーで焼く手術や、スギ花粉などのエキスを一定期間注射して体を慣れさせる減感作療法があります。

慶友銀座クリニック（東京）

薬物療法 2か月で7200円

花粉症の治療費は？

◆花粉症治療の費用

薬物療法 7240円

抗アレルギー薬(1日2錠)と、点鼻薬(1日2回)で2か月間治療

レーザー手術 9820円

初診時のレントゲン検査料や抗アレルギー薬(1日1回、1週間分)の薬剤料などを含む

減感作療法 1万9380円

花粉飛散18週間前から1年間注射。初診時の血液検査料を含む

再診料などを含む保険の3割負担の場合

の薬を処方し4回通院したとして、診察代と薬代を合わせた患者負担は7240円(保険の3割負担)となりました。薬の種類や数によっても値段は異なります。

院長の大場俊彦さんに聞きました。代表的な抗アレルギー薬の飲み薬とステロイドの点鼻薬を併用した場合で、花粉症シーズンの2か月間、1回に2週間分

薬で症状を抑えるのが難しい場合、炭酸ガスのレーザーで鼻の粘膜を焼く方法があります。術前の検査費や術後の薬剤費などを合わせて費用は9820円

(同)です。粘膜は再生するため、効果は1年から数年とされています。

減感作療法は、花粉の飛散前から週2回のペースで徐々に花粉エキスの濃度を高めながら数か月間注射を続け、その後は、月1回に切り替えます。70%前後の人に有効だとされています。早ければ3か月程度で効果が表れますが、持続させるには2〜3年続けることが必要です。表では、開始から1年分の費用を試算しました。週2回の注射を18週間行った場合の患者負担は検査代などを含め1万9380円(同)。その後、月1回の注射の費用は4000円(同)です。